

「人類にとって幸いなことに、史上で唯一初めて、お金の国が出現した—はじめて人間の精神とお金は解放され、征服による財産がなくなって仕事による財産だけになり、剣客と奴隷の代わりに正真正銘の富の製造者であり、最高の労働者であり、もっとも高邁な種類の人間—^{セルフメイド・マン}独立独行の男—アメリカの実業家が出現した。」

— アイン・ランド『肩をすくめるアトラス』第二部「二者択一」第二章「コネの貴族」より

講演会

「稼ぐ」美德とアメリカの起業家精神

Virtue of money making and American entrepreneurship

Speakers/Guests:

ヤロン・ブルック

(米国アイン・ランド協会エグゼクティブ・ディレクター)

田村 洋一

(メタノイア・リミテッド代表取締役)

司会：脇坂 あゆみ (『肩をすくめるアトラス』訳者)

2016年1月19日(火)

18:30 受付／開場 19:00 開演

19:00～20:00 特別講演 20:00～21:00 討論／Q & A

六本木アカデミーヒルズ49

オーディトリウム

東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階

<http://forum.academyhills.com/roppongi/index.html>

(事前振込)

(当日申込の場合)

参加費

一般2,500円 / 3,500円 (税込)

学生1,000円 / 1,500円 (税込) ※全席自由、同時通訳あり

定員

150名 (定員に達し次第、締切)

後援

米国アイン・ランド協会 (Ayn Rand Institute)

お問合せ先

講演会事務局 info@aynrandjapan.org

※下記特設サイトよりお申込みください。

<http://aynrandjapan.org/event/>

※ヤロン・ブルック氏は英語で講演します。(通訳あり)



主催：日本アイン・ランド協会 アトランティス社

思想小説家アイン・ランドを知らずして、
米国の自由主義を理解することはできない。

「稼ぐ」美德とアメリカの起業家精神

第一部 特別講演：アイン・ランドとシリコンバレーの異端児たちの思想

ヤロン・ブルック（米国アイン・ランド協会 エグゼクティブ・ディレクター）

ピーター・ティール、スティーブ・ジョブズら、シリコンバレーの異端児たちを鼓舞し続けてきた思想小説家、アイン・ランド。世界を変えるイノベーションを生み出した西海岸の若き起業家やアメリカのビジネスマンが心酔するアイン・ランドとは誰なのか？ 革新的な商品やサービス、ビジネスのかたちを発想し、創造し続けるための道徳的前提とは？ 半世紀にわたりアメリカで読みつがれ、いま中国や東欧でランドの作品が熱狂的に受け入れられている背景は？

金融の専門家、コラムニスト、舌鋒鋭い保守の論客としてアイン・ランドの思想を伝えるヤロン・ブルック氏の初来日講演。

第二部 討論／Q & A：「格差」は不公平か？ ―ピケティへの反論―

ヤロン・ブルック × 田村 洋一（モデレーター）

格差は問題なのか？ 経済成長と貧困問題への取り組みとして有効なのは格差の是正か、さらなる自由か？ ピケティのブームから1年。『21世紀の資本』への反論として、『平等は不公平』を今春刊行予定のブルック氏に、日本人としていち早くオブジェクティビズム（客観主義）思想を学んで実践してきた田村洋一氏を迎え、徹底討論。

〈登壇者プロフィール〉



講師：ヤロン・ブルック Yaron Brook

米国アイン・ランド協会エグゼクティブ・ディレクター。「フォーブス」、「ウォール・ストリート・ジャーナル」、「USAトゥデイ」等多くの有力メディアに寄稿。ラジオ・テレビ番組にもコメンテーターとして頻繁に出演するほか、米国を中心に世界中で講演を行う。金融危機の原因、資本主義の道徳性、政府の膨張の抑止など幅広いテーマの時事問題を、アイン・ランドの思想である「オブジェクティビズム」に基いて論じている。近著に『自由市場革命』“Free Market Revolution: How Ayn Rand's Ideas Can End Big Government”。2016年3月に『平等は不公平：格差との不毛な闘い』“Equal Is Unfair: America's Misguided Fight Against Income Inequality”を刊行予定。ファイナンス博士（1994年 テキサス大学オースティン校）、MBA（1989年 同）。



田村 洋一（モデレーター）

日本の教育家・実業家。2002年よりメタノイア・リミテッド代表取締役。企業人教育、人材育成、組織開発のためのエグゼクティブコーチング、マネジメントトレーニング、ファシリテーションなどの活動を行う経営コンサルタント。2008年よりシステム思考応用研究会（STARクラブ）、合理的意思決定力とコミュニケーションのためのディベート道場などを主催する。1986年にアイン・ランドの思想に触れ、以来オブジェクティビズムの学徒となる。上智大学外国語学部卒業、バージニア大学ビジネススクール経営学修士。



アイン・ランド Ayn Rand (1905-1982)

個人主義・合理主義・資本主義を柱とする独自の哲学「オブジェクティビズム」を小説やエッセイを通じて世に問い続け、アメリカの「保守の女神」とも呼ばれる思想家・小説家。ロシアのサンクトペテルブルクで生まれた彼女は、十代で共産主義革命を目の当たりにするも、その矛盾と限界をいち早く見抜き、1926年に故国を捨て単身渡米。1936年『われら生きもの』で小説家としてデビュー。1943年『水源』がベストセラーとなり、作家としての地位を確立した。1957年、執筆に12年間を費やした長編小説『肩をすくめるアトラス』を発表。その思想は元FRB議長のアラン・グリーンスパンをはじめ当時の若者に大きな影響を与えた。宗教をも否定するランドの主張は、先鋭的であるがゆえに異端視されてきたが、その作品は自由至上主義の古典としていまも読み継がれ、米国議会図書館の調査では「聖書に次いでアメリカ人に最も大きな影響を与えた本」とされた。

全世界で880万部の大ベストセラー
『肩をすくめるアトラス』
待望の改訂文庫版 好評発売中！



（発売 アトランティス）